

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分
感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2024年										2025年						
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月 ~6日
カンピロバクター	38	25	57	50	39	41	50	50	37	36	18	14	38	22	23	36	9
病原性大腸菌	105	92	79	76	83	70	86	49	46	33	23	107	90	91	71	93	18
腸管出血性大腸菌	1	0	1	2	1	6	2	0	1	1	0	0	1	0	2	3	1
サルモネラ	2	7	5	8	12	29	13	12	7	6	1	3	8	3	6	11	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	16	4	12	21	11	17	24	5	6	4	14	15	6	8	9	16	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	6	3	10	8	6	21	12	8	13	9	9	14	13	9	11	0
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	3	1	5	1	2	0	1	0	3	2	1	1	1	0
ロタウイルス	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	8	9	10	1	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	3	4	4	2	1	0
ノロウイルス	10	3	4	0	1	1	1	0	0	0	0	11	37	10	6	2	0

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC)
感染症週報

令和7年第27週(6月30日~7月6日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6		1	1		1		3
三類	0	発生なし	0							
四類	4	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	1							1
		日本紅斑熱	2			1				1
		レジオネラ症	1					1		
五類	140	梅毒	3		1	1				1
		百日咳	137	21	26	21		47	12	10

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和 7年27週(6月30日～7月6日)

■コメント

1 百日咳

47件の報告があり、多い状況が続いています。乳児は重症化リスクが高く、特に注意が必要です。予防にはワクチン接種が有効です。定期接種対象者は早めに接種を受けましょう。

2 ヘルパンギーナ

定点当たり1.91人の報告があり、増加が続いています。感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染です。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

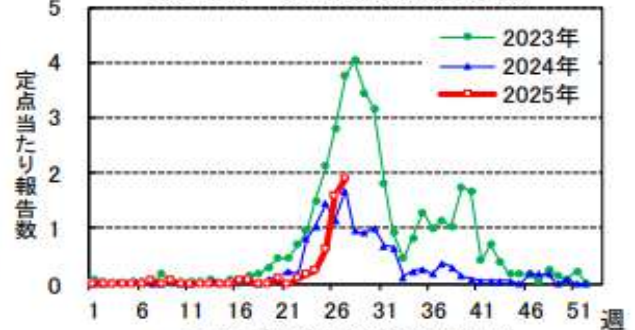
3 伝染性紅斑

定点当たり4.27人と、多い状況が続いています。妊婦が感染すると胎児水腫や流産を引き起こす可能性があるため、特に注意が必要です。

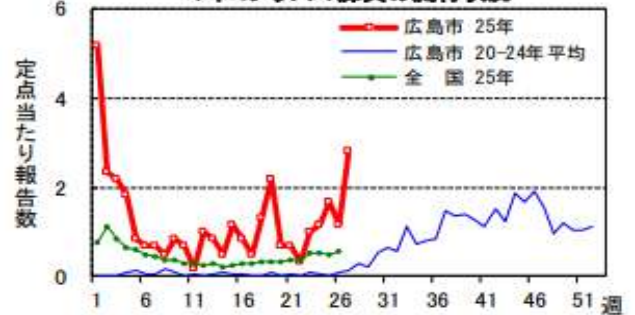
4 マイコプラズマ肺炎

定点当たり2.83人と、増加しています。発熱や全身の倦怠感(だるさ)、頭痛、咳などの症状がみられ、咳は熱が下がった後も長期にわたって(3～4週間)続くのが特徴です。手洗いの励行、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

ヘルパンギーナの流行状況(広島市)



マイコプラズマ肺炎の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	1915	54.71		→	小児科	突発性発しん	7	0.32	0.27	
	インフルエンザ	3	0.09	0.18			ヘルパンギーナ	42	1.91	1.29	→
	新型コロナウイルス(COVID-19)	30	0.86		→		流行性耳下腺炎	1	0.05	0.04	
小児科	RSウイルス感染症	1	0.05	2.02		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	11	0.50	0.48	→		流行性角結膜炎	14	1.75	0.33	→
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	59	2.68	1.30	→	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	116	5.27	4.07	→		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	水痘	3	0.14	0.16			マイコプラズマ肺炎	17	2.83	0.14	↑
	手足口病	21	0.95	6.01	→		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	94	4.27	0.02	→		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	64	70歳代
4	レジオネラ症	1	19	10歳代
5	百日咳	47	522	10歳未満・14人、10歳代・24人、20歳代・2人、30歳代・1人、40歳代・2人、50歳代・3人、70歳代・1人